

「子育てに正解はない?でも、ヒントはある!」

1月23日金曜日、志布志市学校教育専門官・公認心理師の、武隈順子先生をお招きして、「子育てに正解はない?でも、ヒントはある!〜ハクナマタタ×ポレポーレ〜」と題し、講演会を行いました。

子供たちに、どのように関わっていけばよいのか、先生の体験と脳科学から教えていただきました。

関わり方のキーワードは『今 そんな あなた 応援 ♡』。

今 を大切に子供と一緒に過ごせる時間は、人生でトータルすると、母親で約7年6ヶ月、父親で約3年4ヶ月。

お子さんと毎日どのくらい目を合わせていますか?

スマホを置いてスキンシップ優先で!!

そんな 時なんて特に高学年。何か注意をすると、すぐ怒る時もあります。イライラしていること、ありませんか。それは、そんな成長の時期だから!!正論やアドバイスするよりも、いらいらしていることに気づいてあげ、受け止め、受け止めたことを言葉にしよう。脳では、扁桃体が興奮している。扁桃体を下げるには、同調が一番。

あなた が決めて自己決定を子供にさせることが大切。ただ、小学生は経験がないから、いくつか選択肢を与えよう。楽な方を選ばない選択肢を。

応援 全力で親の仕事は、子供の安全基地になること。親の夢を子供に託さないで。

これからの子供に必要なことは「しなやかな心」。

子育てで「これでいいのかな?」「どうしたらいいのかな?」と迷うことはありませんか。そういうときは、「ハクナマタタ×ポレポーレ=大丈夫、問題ない。ゆっくり、あせらず、のんびりと」です。今回は、子育てにも先生にも子供たちと接する全てのひとにとても役に立つ講演会でした。



好きな給食なあに?

みなさんが小学生時代に好きだった給食ありますか。学校給食は、明治22年山形県の私立忠愛小学校で貧しい子供たちへ食事を提供したのが始まりとされています。その後、第二次世界大戦で中断していましたが、戦後外国からの援助を受けて再開。これを記念して、1月24日からの1週間が「全国学校給食週間」として定められました。原田小学校では、1月19日〜23日を給食週間としました。

実施した取り組みは4つです。1つ目は、放送掲示委員会による献立紹介です。(これは給食週間だけでなく、毎日行っています。)2つ目は、保健給食委員会による食に関するクイズです。3日間交代で出題しました。3つ目は、保健給食委員会が児童集会の際に学校給食週間について発表しました。箱の中に入っている食材当てゲームをグループで行い、その食材のよさについて発表しました。4つ目は、給食センターの方々へのお手紙です。日頃の感謝の気持ちを伝えようと、心を込めて書きました。

苦手な食べ物があるのは、十分分かります。だけど、食材を育ててくださる方がいて、子供たちの成長のために献立を考える方がいて、給食を作ってくださいる方がいて、そして、配達してくる方がいる、多くの方々がわたしたちの食を支えていることを、給食週間を通して少しでも考えてもらえたらうれしいです。

こんなに成長しました!!

1月23日金曜日、4年生が10歳を祝う会を行いました。初めに、自分の名前の由来を紹介し、校長先生から一人ずつ「10歳を祝う証書」をもらいました。そして、保護者へ感謝のお手紙を渡しました。もらった保護者の皆様、とても感慨深かったことでしょう。そのお返しというわけではありませんが、サプライズで保護者からのお手紙をもらった4年生。どんなことが書かれていたのかな。

いつも一緒に勉強している3年生からは、普段の感謝の気持ちとこれからもがんばってほしいという気持ちを込めた、激励のエールと手作りの花束が贈られました。

4年生は、自分たちで授業を進めて学びを深めたり、友人関係で何かあったときは先生と一緒にどうしたらいいのか考えたりすることで、集団としても個としても大きく成長しました。4月からは高学年。6名が新6年生と協力しながら、原田小をひっぱり活躍する姿を見ることを、楽しみにしています。

<6名の将来の夢>

Oさん...インテリアコーディネーター

Kさん...優しい人

Kさん...パン屋

Tさん...保育士

Hさん...古生物学者

Mさん...文房具デザイナー



児童集会



給食センターの方々へのお手紙

保健給食委員会によるクイズ

(抜粋)

1 お菓子によくあるサラダ味。この「サラダ」とは?

- ①野菜のこと
- ②ドレッシングのこと
- ③サラダ油のこと

2 冬野菜を食べると、どのような効果がある?

- ①体があたたまる。
- ②体が丈夫になる。
- ③髪の毛がよく伸びる。

2 ㊦ (74)